

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

オホーツク管内 湧別町立上湧別小学校

本実践のポイント（概要）

- ・自分たちが暮らしている地域や北海道に対する愛着や誇りを育むため、アイヌ文化と自分たちの生活との関わりについてインターネットや書籍を使って調べるとともに、地域の博物館の見学や、アイヌ教育相談員を招いた講話を通して、探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

アイヌ文化について調べたり、見学したりする活動を通して、アイヌの人たちの暮らしや現状、願いについて理解するとともに、アイヌの人たちの文化と自分たちの暮らしとの違いや関わりについて考え、ふるさとに対する愛着や誇りを育む。

取組の様子

(1) 課題の設定

アイヌの人たちの「衣・食・住」等、児童が興味をもったテーマについて、インターネットや書籍から得た情報から、一人一人がアイヌ文化の特色や歴史、自分たちの生活との関わりなどについて探究課題を設定しました。

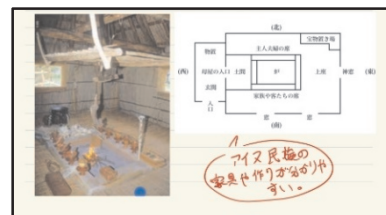


【情報収集の様子】

(2) 情報の収集

地域の博物館の見学や、アイヌ教育相談員を招いた講話を通してアイヌの人たちの文化と自分たちの生活との関わりについて情報を収集しました。

また、インターネットや、学校図書館のアイヌ文化コーナーにある書籍から、詳しく調べたいことについて多様な情報を集め、必要な情報を吟味したり取捨選択したりしました。



【ノート機能による整理・分析】

(3) 整理・分析

1人1台端末のノート機能を使って、収集した情報を整理し、同じテーマを選択した児童同士で内容について交流・協議するとともに、調べる中で疑問に思ったことについて、地域の博物館やアイヌ教育相談員に質問し、理解を深めました。

(4) まとめ・表現

これまでに調べてきたことから、アイヌの人たちの文化と自分たちの暮らしとの違いや関わりについて考え、1人1台端末を活用してスライドにまとめ、保護者に発表しました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・一人一人が課題解決に向けて目的意識をもって取り組むことができるよう、一人一人の児童が取り組む課題を明らかにした上で、情報の収集の場面で調べる方法を選択できるようにしました。
- ・一人一人の児童がテーマについて理解を深めたり、新たな課題解決の視点を捉えたりできるよう、1人1台端末の機能を活用し、共通するテーマに取り組む児童同士で、集めた情報の整理やプレゼンテーションの作成を共同編集することで、協働的な学びを進めました。

実践の振り返り

- ・興味をもったテーマについて、一人一人が探究課題を設定することにより、自分たちが暮らしている地域や北海道に関する興味・関心を高め、北海道や地域に対する郷土愛を育むことができました。
- ・1人1台端末のWeb検索機能を活用して多くの情報を収集したり、同じテーマの児童同士が共同編集機能を活用したりすることにより、探究的な学習をより一層深めることが期待できます。